

小さな仕事も一つの経営



われわれはわれわれの仕事を、いずれも一つの経営と考えなければならぬ。どのような小さな仕事もそれが一つの経営なりと考えるときには、そこにいろいろ改良工夫をめぐらすべき点が発見され、したがってその仕事の上に新しい発見が生まれるものである。

世間すべての人々が同じように努力しながら、成功する人はまれであるのは、いま言うところの経営の観念に欠け、何らの検討工夫をなさず、ただ仕事に精出しているにすぎないからである。

本所もかくのごとき人々の集団であるときは、その将来も危ぶまれる次第である。一人で世間へほうり出しても立派に独立独歩し、何をしても一人前にやっつけていける人々の集まりとなつてこそ、所期の目的が達せられるわけであり、かつ、かく経営者たるの修養を積むことによって、諸君各自の将来もいかに力強きものがあるかを考えねばならぬと痛感する次第である。



(1933年12月16日夕会にて)